

赤十字かごしま

2018
Vol. 205



特集

鹿児島赤十字病院の紹介

活動報告

平成30年7月豪雨災害対応について

「聞いて効いて」インフルエンザ予防 ～咳エチケット～
「赤十字クイズ!!」赤十字オリジナルエコバッグプレゼント



鹿児島赤十字病院の紹介

大正12年に始まり90年以上の歴史がある鹿児島赤十字病院。昭和14年に現在の平川町に移転し、時代の流れとともに診療科整備が行われ、リウマチ膠原病や関節・脊椎整形外科、脳神経外科領域を主とする急性期病院へと発展してきました。

災害時の救護活動や離島へのへき地医療は勿論のこと、赤十字病院として人道に基づく活動を続けています。



平川町移転当時 ※当時は「錦江療院」



急性期医療に特化した体制



災害時の迅速な救護活動



へき地医療機関との連携・支援

診療科

- ・総合診療科
- ・循環器内科
- ・整形外科（関節外科・脊椎外科）
- ・脳神経外科
- ・放射線科
- ・リハビリテーション科
- ・リウマチ科
- ・呼吸器内科
- ・麻酔科

健診事業

- ・生活習慣病検診
- ・人間ドック
- ・脳ドック

介護保険事業

居宅介護支援事業所

各診療科より

総合診療科

内科部長兼総合診療科 部長 永井 慎昌

鹿児島赤十字病院総合診療科では、内科系疾患のうち当院で専門診療科のある、リウマチ・膠原病関連疾患、循環器疾患、呼吸器疾患以外の範疇の疾患に対応させていただいています。特に何科を受診していいか解らない様な症候については、まずは診療してみて、疾患別の専門各科への振り分けを行う（トリアージ）機能があります。

疾患の重症度に関しては、軽症から中等症程度を対象としており、重症の方々については専門各科を有する施設と連携して、基本的には紹介させていただくことになります。

福祉関係の施設とも連携しており、御高齢の入所者の方々への急病にも対応させていただいております。

又、健康増進から疾患の発症予防・早期発見まで積極的に関わっています。具体的には、各種の健診・検診にも対応しております。地域や職域の健康教育等にも積極的に関わっております。

何科を受診したらいいか解らず困っている方がおられましたら、総合診療科を受診を予約してみてください。



リウマチ科

副院長兼リウマチ科 部長 大坪 秀雄



当科では全身性エリテマトーデス、強皮症などの膠原病、関節リウマチ等の免疫異常が原因で生じるとされる病気の方を多く診ています。最近薬の開発が進み治療法の進歩が速く、特に関節リウマチでは薬の効果が高く、関節が壊れないようにして変形しない様にする事が出来るようになってきました。生物学的製剤と呼ばれる注射薬では特に効果が高く、しかも肝臓や腎臓への負担は殆ど無い画期的な薬です。ただ、感染症への注意は必要です。私たちは効果の高い治療薬をできるだけ安全に使えるようにしたいと考えています。生物学的製剤を使う時に起こる特殊な感染症を防止するために、薬を開始する前に、その感染症を発症しやすい患者さんかどうかを確認し、リスクが高い方は予防薬を使うようにしっかり事前に評価するような仕組みを作り、医師、看護師を含め、スタッフ全員でできるだけ安全に始められるように努力しています。

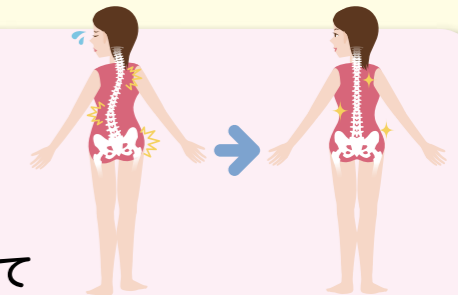
その後も感染を起こさないように、また、起こした場合にもできるだけ悪化させないようにしたいと願い、そのような時にはどうすればよいかを日々患者さんに伝えるように努力しています。

最近の効果の高い薬は値段も高い事が多く、健康保険を使っても経済面の負担が大きい事も事実で、そのような場合、条件を満たせば希望により、治験という新薬の開発に参加していただく事で、新しい薬を経済的負担なく使用できる選択肢も準備しており、これまでに多くの方々がこの恩恵を受けておられます。

整形外科

第二整形外科 部長 山元 拓哉

側弯症等の脊柱変形に対する治療について



2018年4月に赴任した山元です。私は鹿児島大学病院で2005年から脊柱変形治療を行なって参りましたが、当院でも側弯症外来と外科的治療を開始致しましたので、ご紹介させていただきます。

脊柱変形は背骨が非生理的に弯曲し、腰背部痛や脊椎脊髄、肺、消化器等の障害を起こす疾患で、小児発症と中高年以降発症に大別されます。

小児発症は、特発性、症候性、先天性に分類されます。特発性は原因不明で女児に多く、症候性は神経や筋疾患等何らかの疾患が原因で、先天性は生まれつきの奇形に因ります。それぞれ治療法が異なり、10歳未満での発症では生命予後に影響する例もあるため早期診断が重要です。診断や年齢、変形の程度に応じ、ギプスや装具療法（コルセット）等の保存療法、成長温存手術や矯正固定術等の手術の中から、患者さんに最適な治療を行うことが重要です。

成人発症のものも、原因や弯曲の程度に応じて保存療法や脊椎固定術を行います。近年の病態解明や手術方法の改善が得られ、高齢者にもより安全に良好な治療効果が得られるようになってきました。

少しでも患者さんの力になれるように頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

災害救護



鹿児島赤十字病院は日赤鹿児島県支部と連携し常備救護班を編成しています。職員は有事の際に適切な救護活動が展開できるよう、「救護員基礎研修」「救急法救急員養成講習」「こころのケア研修」を受講し、知識と技術を身に付けています。フォローアップ研修や定期的な救急法救急員養成講習受講を行うことで知識や技術の維持向上に努め、県内で開催される各種訓練を中心に災害に関する訓練にも数多く参加し、実働の際に適切な災害救護業務が展開できるよう多くの機関との連携も図っています。当院は平成9年に災害拠点病院の指定を受け、さらに平成21年には鹿児島県災害派遣医療チーム(DMAT)指定病院として指定を受けています。県内はもとより国内で発生した災害に対し医療救護班のみならず、こころのケア要員も派遣し、被災者に対する身体的、精神的支援を行っています。



救護員基礎研修



こころのケア研修



実働訓練

(参考) 鹿児島赤十字病院からの救護班要員等派遣状況

派遣災害名	派遣期間	派遣要員数						計
		医師	看護師長	看護師	主事	こころのケア	その他	
東日本大震災	平成23年3月15日 ～7月21日	7	5	9	6	9	4	40
口永良部島 新岳噴火災害	平成27年5月29日 ～6月1日	1	1	2	2	2	0	8
平成28年 熊本地震	平成28年4月20日 ～5月21日	4	4	9	6	0	1	24



東日本大震災
(こころのケア)



口永良部島新岳噴火災害
(健康相談)



平成28年熊本地震
(診療)

また平成22年には国民保護救援関連活動資機材(NBC災害除染セット)が配備され、翌23年には資機材の格納倉庫が整備され、平成26年には原子力災害における救護活動において携行する放射線防護資機材が配備されました。

災害時への救護班派遣はもとより、イベント等への臨時救護(医師、看護師派遣・救護班派遣)活動も行っています。地域住民や各団体等からの要請にて災害救護やこころのケアに関する講演等も行っています。

診療予約について

鹿児島赤十字病院では、全診療科にて予約制を導入しております。

《電話予約受付時間》月～金曜日：午後2時～5時 **※予約制**

2か月前から予約が可能な診療科	総合診療科(一般内科)、リウマチ科、呼吸器内科
3か月前から予約が可能な診療科	整形外科、脳神経外科(月・水・木・金のみ)
随時電話予約受付	循環器内科(平日：月～金) ※状況次第で当日受診可能。電話等で御相談ください。

※受診される方はお電話でご予約の上、来院ください。

急患及び診療の状況により、予約時間がずれ込む場合もありますのでご了承ください。

医事課より

かかりつけの病院がある方は「紹介状」を持参いただくとスムーズに診療をうけることができます。

紹介状にはかかりつけ病院でのこれまでの診察の内容、現在飲んでいるお薬、検査のデータなど患者さまの体の具合が記載されています。これらの情報によって、紹介を受けた当院も迅速に患者さまについて把握することができます。

また当院での診療が終了し、症状が安定した際には当院からかかりつけの病院へ逆に紹介することでその後の経過観察など切れ目のない医療を受けることができます。

紹介状をお持ちの方は、予約や受診の際に紹介状があることをお伝えください。また、紹介状をお持ちでなくても当院の受診はもちろん可能です。電話でも受診の予約を承っておりますので、お気軽にお電話ください。



鹿児島赤十字病院へのアクセス



鹿児島中央駅から

- 車でお越しの方 鹿児島中央駅より車で約35分(産業道路経由)
- JRでお越しの方 五位野駅下車 車で約5分
- バスでお越しの方 鹿児島交通 平川日赤前下車

指宿方面から

- 車でお越しの方 指宿駅より車で約45分(国道226号線経由)
- JRでお越しの方 五位野駅下車 車で約5分
- バスでお越しの方 鹿児島交通 平川日赤前下車

加世田方面から

- 車でお越しの方 南さつま市役所より車で約45分(国道225号線経由)

●お問い合わせ

 **日本赤十字社** 鹿児島赤十字病院
Japanese Red Cross Society

〒891-0133 鹿児島市平川町2545

TEL **099-261-2111**

FAX **099-261-0491**



【病院指標】

当院の特徴や急性期医療の現状を理解して頂くことを目的とし、皆様に情報を公開しております。

詳しくは、当院ホームページの「病院について」より「病院指標」を御覧ください。

<http://www.kagoshima-med.jrc.or.jp/aboutus/shihyo.html>

活動報告 平成30年7月豪雨災害対応について

西日本を中心に甚大な被害をもたらした平成30年7月豪雨。被災地に対し鹿児島県支部は以下の支援を行いましたのでご報告いたします。

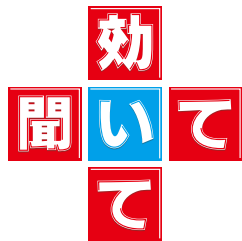
【支援内容】

- ・日本赤十字社岡山県支部災害対策本部へ支援要員を派遣
派遣人数：1名
派遣期間：平成30年7月19日(木)～平成30年7月24日(火)
- ・義援金の受付
平成30年9月19日時点の「平成30年7月豪雨災害義援金」受付状況
8千693万3,177円(鹿児島県支部受付分)

※お預かりした義援金はすべて被災府県に設置される義援金配分委員会を通じて被災者へ配分されます。



災害対策本部内において医療救護班に活動指示を出している様子



VOL.68

インフルエンザ予防 ～咳エチケット～

鹿児島赤十字病院 医療安全推進室 院内感染管理 宮園 孝子

インフルエンザは、毎年11月～3月に流行するインフルエンザウイルスの感染による急性気道感染症で、咳、のどの痛みなど上気道炎症状に加えて、突然の高熱、全身の倦怠感、頭痛、筋肉・関節痛を伴うことが特徴です。予防として①インフルエンザワクチン接種②咳エチケット③手洗い④十分な休養と食事のバランス⑤人ごみを避けるがあります。今回は咳エチケットについてお話します。

インフルエンザの主な感染経路は咳やくしゃみの際に口から発生される小さなしぶき「飛沫(ひまつ)」による主に口、鼻粘膜への侵入です。最低でも2メートルの距離を置き、飛沫を浴びないようにすればインフルエンザに感染する機会は大きく減少します。しかし家族や学校のクラスメートなど日常的に一緒にいる機会がおおい者同士や、全く症状のない不顕性(ふけんせい)感染例の場合、気がつかないこともあります。



インフルエンザの飛沫感染対策としては普段からみんなが咳エチケットを守る必要があります。

- ① 咳やくしゃみを他の人に向けて発しないこと
- ② 咳が出るときはマスクをつけること
- ③ 手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うことなどです。



感染した人がマスクをするほうが他への感染を抑える効果が高いといわれていますが、流行期に保育所、幼稚園、学校や職場でだれが感染しているかわからない状況では、可能な場合は皆がマスクをすることも感染対策としては効果的です。

手指など身体についたインフルエンザウイルスは流水石けんで洗うことが有効でインフルエンザに限らず感染対策の基本となります。

インフルエンザウイルスはアルコールによる手指消毒も効果があります。

この冬、「咳エチケット」は手洗いとセットで実施し、インフルエンザウイルスを寄せ付けないようにしましょう。

赤十字クイズ!!

Q. 赤十字の創始者アンリー・デュナンの誕生国はどこ?

- ① ポーランド ② カナダ ③ オーストリア ④ スイス

☆ヒント ☆国旗の配色を逆にすると...

正解された方に、抽選で「赤十字オリジナルエコバッグ」をプレゼント!
下記事項を明記の上、郵送・メール・FAXにて平成30年12月28日(金)までにご応募ください。

- ① お名前 ② 郵便番号・ご住所 ③ 電話番号 ④ 年齢
⑤ クイズの答え ⑥ 「赤十字がごしま」へのご意見・ご感想

赤十字オリジナルエコバッグを
抽選で3名様にプレゼント!



(サイズ)約35センチ×約45センチ 【素材】ナイロン

〈応募先〉
〒890-0064 鹿児島市鴨池新町1番5号
日本赤十字社鹿児島県支部組織振興課
TEL:099-252-0600 FAX:099-258-7037
E-mail:shibu-rc@kagoshima.jrc.or.jp

※当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。
※本プレゼントの応募を通じてご提供いただきました個人情報、本プレゼントの運営に関すること以外の目的で使用することはありません。

日本赤十字社 鹿児島県支部
Japanese Red Cross Society

☎099(252)0600

URL : <http://www.kagoshima.jrc.or.jp/>
E-mail : shibu-rc@kagoshima.jrc.or.jp

日赤鹿児島県支部

検索



ご自身や故人の思いを赤十字へ

近年、「自分が亡くなった後、これまで築いた財産の一部を赤十字に寄付したい」といったご相談や、大切な方を亡くされたご遺族から、「故人の遺産を社会のために役立ててほしい」というお申し出を多くいただいております。

当県支部では、こうした尊いご意思に応えるために、遺産・相続財産の寄付などを承っております。また、これらの寄付金には非課税となる税制上の優遇措置があります。

詳しくは、日本赤十字社鹿児島県支部組織振興課までお問い合わせください。